

第3回 里地里山フォーラム

里山資源を活かした地域づくりin庄内

みんなで考えよう！自然の恵みに支えられ、豊かに暮らせる地方と都市の役割

私たちは、これまで森の恵みをいただきながら自然と折り合いをつけて生きてきた長い歴史があるなかで、いつしか目先の利便性と利益の追求を極限まで求める社会になってしまいました。その結果、地球温暖化にともなう異常気象、都市と地方の格差拡大と様々な弊害を生み出しております。

山形県では、平成19年度よりみどり環境税を導入し「県民みんなで支える森・みどり環境公募事業」をはじめ森林資源保全整備事業が継続されており、森林資源を活用したバイオマスエネルギーの導入や森づくりへの関心も徐々に高くなってきております。

第3回 里地里山フォーラムは、国土の7割近くを占める山の資源を見直し、森・里・川・海のつながりを再認識する機会になることを目的に、それぞれの地域で活躍されている事例に基づいた講演会を開催いたします。多くのみなさまのご参加をお願いいたします。

【発表者 / 講師紹介】



木村 尚 氏

●1956年横浜市生まれ ●NPO法人 海辺つくり研究会理事/事務局長●(株)森里川海生業研究所取締役●日本テレビ系「ザ!鉄腕!DASH!!DASH海岸」の海の先生としてレギュラー出演

東京湾を子どもたちが泳げる豊かで美しい海にしたいと、市民参加型でワカメの育成による水質浄化や、アマモ場再生活動、東京湾に失われた干潟の再生、子どもたちの海辺の自然体験活動の支援や指導者育成、東京湾の環境やまちづくりに関連するセミナー開催などを行っている海洋環境専門家。

佐藤 達也 氏

●1974年山形県酒田市生まれ
●(株)庄内エコポリス 代表取締役
●認定NPO法人ひらた里山の会 理事

α-1ホテルのホテルマン勤務後(株)メカニックを経て2000年より(株)庄内エコポリス代表取締役に就任。2008年NPO法人設立時から理事として主に里山地域の保全活動で活躍している。酒田市中心部地域である中野俣在住、母・妻と3人、長男長女は県外で修学中。

小林 真 氏

●1968年山形県白鷹町生まれ
●2011年設立NPO法人 ひびき 理事長

白鷹町内で積極的な森林活用を広める試みとして、間伐材を活用する「しらたか木の駅プロジェクト」立ち上げ推進している。更に、森林の整備・管理などを継続的に行うには科学と五感で調べる「最上川森の健康診断」が必要と県内初めて実施。参加者からの感想と分析結果を報告し今後について意見交換を目的に「東北ブロック兄弟木の駅会議を開催。

三浦 秀一 氏

●1963年兵庫県生まれ
●東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授
近年は、「やまがた自然エネルギーネットワーク」代表として、カーボンニュートラルで地域資源を活用した地域づくりを目指し、住民や自治体と共に実践活動に取り組んでいる。
主な著書「コミュニティ・エネルギー、シリーズ地域の再生」「木質資源活用 森林の恵みを活かす～木質バイオマスで中山間地を元気にする～」

参加申込書

当日参加自由ですが、資料準備等の都合がございますので、参加を希望される場合はなるべく事前に申し込みください。団体、企業等の場合はなるべく集約の上記入をお願いいたします。

所属団体(会社)名または住所(町名まで)	氏 名

FAX 0234-52-3466 認定NPO法人ひらた里山の会 行